

JudgeSystem

モジュール分割

- def decision(cmd,input_,correct_output):
 - ・ cmdで設定したコマンドにinputを入力して実行し、outputと同じ出力が得られるか判定する関数
 - ・ 引数は、コマンドを一語ずつ要素に区切った配列(cmd)、入力する文字列(input_)、正しい出力の文字列(correct_output)を設定
 - ・ 戻り値は、-1(CE),0(AC),1(WA),2(TLE),3(RE)のいずれかである
- def run_python(object_file_name,testcase_inputs,correct_outputs):
 - ・ pythonファイルの実行を行う関数
 - ・ pythonファイルを実行し、全てのテストケースに対する入力をし、正しい出力を行なっているかを判定する
 - ・ 引数と戻り値はrun関数と一緒に
- def run_ruby(object_file_name,testcase_inputs,correct_outputs):
 - ・ rubyファイルの実行を行う関数
 - ・ rubyファイルを実行し、全てのテストケースに対する入力をし、正しい出力を行なっているかを判定する
 - ・ 引数と戻り値はrun関数と一緒に
- def run_cpp(object_file_name,testcase_inputs,correct_outputs):
 - ・ c++ファイルの実行を行う関数
 - ・ c++ファイルをコンパイルし、全てのテストケースに対する入力をし、正しい出力を行なっているかを判定する
 - ・ 引数と戻り値はrun関数と一緒に

- `def run(object_file_name, testcase_inputs, correct_outputs):`
 - ・ ジャッジ対象のファイルを実際に実行し、結果の表示を行う関数
 - ・ 引数でジャッジするファイル名(`object_file_name`)、入力するテストケースの配列(`testcase_inputs`)、正しい出力(`correct_outputs`)の配列を設定
 - ・ AC数、WA数、TLE数、RE数、CE数を戻り値とする